

# 第6回 中央区自治協議会 会議録

開催日時	令和4年10月28日(金) 午後2時～午後3時30分
会場	新潟市天寿園
出席者	<p><b>委員</b></p> <p>日野浦委員、玉木委員、川端委員、高田委員、山田委員、遠藤委員、青山委員、樋口委員、中野委員、若槻委員、大竹委員、齊藤委員、吉岡委員、三國委員、影山委員、飯田委員、田中(雅)委員、宮本委員、佐藤委員、池委員、小川委員、田邊委員、知野委員、西潟委員、清野委員、梶委員、高橋(勝)委員、松川委員、桐生委員、北川委員、若木委員</p> <p>出席 31 名 欠席 7 名 (高橋(誠)委員、梅川委員、阿部委員、小沢委員、高橋(直)委員、松山委員、田中(鈴)委員)</p> <p><b>事務局・説明者</b></p> <p>[新潟市教育委員会]教育支援センター所長 [中央区役所] 区長、副区長、窓口サービス課長、健康福祉課長、保健課長、建設課長、東出張所長、南出張所長、地域課長</p>
議事	<p>1 開会</p> <p>○ 会議の成立について 委員 38 名中 31 名出席のため、規定により会議は成立</p> <p>2 議事 (議長=佐藤会長)</p> <p>(議長)</p> <p>皆さん、こんにちは。今日は、議事が1つ、報告事項が3つ、その他、委員から議事提案に基づく討議となっています。よろしくお願いします。</p> <p>(1) 令和5年度中央区特色ある区づくり予算(区役所企画事業)について (意見聴取)(資料 議1)</p> <p>(議長)</p>

まず、議事の1つ目です。「議事(1) 令和5年度中央区特色ある区づくり予算(区役所企画事業)について」です。清水総務課長、よろしくお願いします。

(総務課長)

総務課長の清水です。

来年度の中央区特色ある区づくり予算(区役所企画事業)(案)について、説明いたします。お手元の資料、議1をご覧ください。こちらの案件は、区自治協議会条例の規定に基づき、自治協議会に意見を求めるものです。

次のページをお開きください。区事業は、新しい区ビジョンまちづくり計画の4つの方針にしたがって立案し、方針ごとに11事業を記載してあります。企画立案の過程においては、9月以降の各部会でご意見をすでにいただいております、できる限り事業内容に反映していく予定です。なお、区づくり事業にかかる予算について、今年度は区役所企画事業と区自治協提案事業とを合わせて3,300万円でしたが、今後、皆様からのご意見を含め、事業内容を精査し、各事業の予算額を決定いたします。さらに、令和5年度は、「にいがた2km」と連携した事業にも取り組んでいく予定です。部会で説明した「やすらぎ堤アクティビティ事業」は実施に向けてさらに研究が必要ということで、来年度の予算化は見送り、まちなか活性化事業は継続事業として総務課が担当いたします。

それでは、順に事業内容を説明いたします。事業No.1、新規事業、建設課の「シェアサイクル活用事業」です。今年度始まった「にいがた2kmシェアサイクル」を活用し、沼垂やしもまちなどの「にいがた2km」エリア以外の地域への誘客を図り、中央区内の移動方法の周知とともに事業を中央区全域に波及させます。令和5年度は、自転車の車体に観光、イベント等に関するサインを設置し、利用者の行動変容や意識変化を調査する社会実験を行います。

事業No.2は、担当を総務課に変更した「まちなか活性化事業」です。「まちなか発にぎわいプロジェクト」を引き継いでいく形で実施します。古町地区を始め、周辺の商店街などにおいて、地域の方々の情報発信やPRなどの催事を開催することによって、魅力と賑わいを創出します。令和3年度は、NEXT21でライトアップやピアノ演奏を行い、令和4年度はルフル広場でイベントを開催しました。令和5年度は、まちなか活性化実行委員会で引き続き、事業を企画、実施します。古町で学ぶ人も実行委員会に加え、魅力創出やにぎわいづくりを考えていきます。

事業No.3、健康福祉課の「レッツトライ!糖尿病予防事業」は、中央区民の糖尿病を予防するため、正しい知識の取得や啓発を図ります。主な取組みとして、令和3年度は、地域へ専門職等を派遣した講座や若い世代への普及啓発を行いました。令和4年度は、小中学校と連携した保護者への受診勧奨と啓発を行っています。令和5年度も、引き続き同様の取組みを実施する予定です。

事業No.4は、健康福祉課の「みんなでつながるにっこにこ子育て応援事業」です。母子保健や育児に関し、妊娠期から子育て期にわたり、切れ目のない支援を関係機関と

連携、協働で行います。令和5年度は、妊カフェを拡大、育ばる、10か月育ちの講座の見直しを行い統合、その他の事業は継続して行う予定です。

続きまして、事業No.5、健康福祉課の「赤ちゃん誕生お祝い会&交流会支援事業」です。赤ちゃんの誕生を機に、地域と顔の見えるつながりをつくるために赤ちゃん誕生お祝い会及び交流会の開催を支援します。令和4年度は、赤ちゃん誕生お祝い会のみでしたが、令和5年度はお祝い会で作ったきっかけをもとに、より地域との交流を深めてもらうため、交流会をセットで開催をします。

事業No.6は、健康福祉課の「認知症地域支えあい事業」です。新規事業です。認知症は、加齢によって多くの方がなり得るものであります。高齢化が進む中、社会全体が認知症について理解し、認知症になっても安心して暮らせる地域を目指すことが大切であり、その推進を図るものです。主な取組みとして、専門職による講座や啓発、地域での認知症に対する支援などを行います。

事業No.7は、地域課の「地域のお宝！再発見事業」です。中央区の魅力をも再認識してもらうため、新潟シティガイドによる解説付きまち歩き「えんでこ」や、SNSなどの活用により、地域の魅力を発信します。令和5年度は、隣接する他区や他のイベントとの連携など、既存の範囲にとらわれないまち歩きを企画し、新規参加者の拡充を図ります。

事業No.8は、地域課の「みなとまち新潟伝統的産業PR事業」です。新潟漆器、古町芸妓についての魅力の再発見につながる機会を提供し、認知度を上げ、普及促進を図ります。

続きまして、事業No.9、総務課の「安全な地域づくり事業」です。防災・防犯・交通安全対策を地域とともに一体的かつ総合的に取り組むことで、安全な地域づくりを進めます。令和5年度は、防災人材の育成と自転車の運転マナー向上などに力を入れていきます。

続いて、事業No.10は、窓口サービス課の「鳥屋野潟環境啓発事業『とやの物語』」です。鳥屋野潟の認知度と環境意識を高め、広く市民などの取組みを促し、都市と自然豊かな水辺が共生するまちづくりを推進します。主な取組みとして、令和3年度は出前講座、映像教材制作、パネル展を行いました。令和4年度は同様の取組みと鳥屋野潟の一斉清掃を行いました。令和5年度は、他の潟との連携の一環で、先進的な取組み、視察を行う予定です。

事業No.11は、建設課の「区民協働森づくり事業」です。汐見台周辺における防風対策を進めるために地域や団体、有識者らと協働して、クロマツによる森づくりを行います。令和3年度でクロマツ苗の植樹が完了したため、令和4年度からは、管理や周知活動をボランティアで行っています。令和5年度は、今年度に引き続きクロマツの除伐作業や隣接する海浜植物園への植栽などを行うとともに、管理用道路の設置を行います。

以上で説明を終わります。ご審議をお願いします。

(議 長)

今、説明をしていただいたのですけれども、ご意見やご質問等はございますでしょうか。

(松川委員)

鉄道・公共交通研究家の松川です。よろしくお願いします。

お伺いしたいのは、事業No.1「シェアサイクル活用事業」についてです。事業目的が、地域への誘客を図り、観光エリアを知ってもらおうとなっておりますが、私が調べたところ、新潟市公式観光情報サイトに記載がありません。逆に新潟市のホームページ、道路と交通には載っているのですが、観光客がチェックするとは思えません。観光ということであれば、公式観光情報サイトに記載がないのは効果が見込めないと思います。こちらに載せていただくことはできますでしょうか。

(総務課長)

掲載に向けて検討いたします。

(議 長)

ありがとうございます。ほかにありますでしょうか。よろしいでしょうか。

今の意見は、12月に全体会議で、これまで各部会で討議したことも含めて意見を提出ということにしますので、よろしくお願いします。

それでは、清水副区長、どうもありがとうございました。

### 3 報告

――自治協議会委員活動報告――

(1) 新潟市総合計画審議会（資料 報1）

(議 長)

次は、報告事項です。1つ目に委員からの報告です。北川委員から、新潟市統合計画審議会と新潟市総合計画審議会第2部会の報告をしていただきます。よろしくお願いします。

(北川委員)

公募委員の北川です。新潟市総合計画審議会の会議概要の説明をしたいと思います。

恐れ入りますが、順番が逆にしまして、報1-2からご覧ください。会議名は、「第4回新潟市総合計画審議会第2部会」です。こちらを先に説明したいと思います。開催日時、会場、出席委員は記載のとおりです。審議ですが、これまで出ました新潟市総合計

画答申案について意見を確認いたしました。

続きまして、政策調整課長より、市の考え方と対応が示されました。下のところに抜粋して、報告があった内容をお書きいたしました。

若者の転出超過解消への取組みについて、若者の市内就労への意識の醸成、市内企業の認知度向上を促進することを答申案に追加するという事です。また、委員により、農林水産業の都市と田園の調和を活かした持続可能な農林水産業の実現について、新潟市が国家戦略特区に指定されていることをもう少し積極的にアピールしたほうがいいのではないかという意見がありました。

続いて、報1-1をご覧ください。部会の意見を集約するという意味で、第2回全体会が開かれております。開催日時、会場、出席委員は記載のとおりです。各部会から、審議の概要について報告がありました。こちらのほうは、第1部会から第4部会まであります。新潟市総合計画審議会素案への要望が答申としてまとめられ、各部会から審議内容について説明がありました。

報告概要ですけれども、答申案から抜粋して、各部会長から説明があったということになります。まず、第1部部会ですけれども、新潟市は、先行して「パートナーシップ宣誓制度」を導入しており、そういう方々も胸を張って活動していくということはよいことだと思うので、総合計画の中にLGBTQへの理解について盛り込んではどうかということなどがお話しされました。

第2部会は私が所属する部会ですけれども、産業・交流について地域経済の活性化に資する新たなビジネスの創出支援において、挑戦を促す環境づくりへの取組みを記載するとともに、官民連携を含めた地域ネットワークの活用などの様子を加えてはどうかというお話がありました。

第3部会、子育て・教育・健康・福祉についてですが、出会いから結婚、妊娠、出産、子育てにかけて切れ目のない支援について、中学や小学校高学年といった早い時期から教育することを盛り込んではどうかというお話がありました。

第4部会ですが、安心・安全・まちづくり・インフラ・環境について、高齢者、子ども、障がいのある方などだれもがこれまで以上に安心して歩けるようなまちづくりを目指すことを期待してはどうかというお話がありました。

ページをめくりまして、続いて、政策調整課長より基本構想、基本計画について、意見、要望の報告がありました。各部会からの意見を集めると、180の意見があったということが報告されました。また、市民からの意見は50件あったということです。その一部ですけれども、ここに記載してあります。まちづくりの理念について、里山、里海、里潟といった、市民と自然が共生し、田園とともに自然をベースにしたまちづくりを目指していくといった方向性を打ち出したほうが、新潟市の独自性が明確になるのではないかということなどが報告されました。

続きまして、総合計画策定にかかる今後のスケジュールについて話がありました。新潟市のホームページを見ますと、10月4日に牛木辰男会長から中原市長へ答申案が送

られております。12月議会の議決を経て、令和5年度より、次期新潟市総合計画がスタートいたします。併せて、次期総合計画について、市民や事業者へ分かりやすく丁寧に情報発信を行うということです。

また、基本計画で示した施策を実現するための具体的な取組みである、実行計画はこの議会を経て、年度末から新年度初めにかけて、新潟市のホームページで公表するというものでした。これで、6月28日の全体会からこの第2回全体会までで審議会は終了ということになります。

一つお願いですけれども、今こちらにお集まりの皆様はぜひ新潟市のホームページをクリックしていただいて、そこに答申案が載っていますので、全部とは言いませんけれども一部でもご覧になっていただきたいと思います。

(議 長)

今の報告に対して質問や意見等はございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、北川さん、どうもありがとうございました。

(2) 部会からの報告について (資料 報2-1 2-2 2-3 2-4)

(議 長)

続いて、部会からの報告です。第1部会から通常行うのですがけれども、今日、第3部会の川端さんは所用で退席なさるということですので、先に第3部会から報告をお願いします。

①第3部会 (資料報2-3)

(川端委員)

申し訳ありません。

第3部会の鏡淵小学校区コミュニティ協議会の川端です。よろしく申し上げます。資料報2-3をお願いいたします。10月11日に部会を開きました。以下はご覧になっていただきたいと思います。

議題についてですけれども、「特色ある区づくり予算の事業について」ということで、安全な地域づくり事業について、自動車の運転マナーは、中学生に重点がいつているが、高齢者や主婦も対象にしたほうがいいのではないかという意見がありました。それから、自転車保険が県で義務化されたが、自転車購入時の説明では意識しても、それ以外はなかなか意識することがないので、繰り返し啓発活動や説明を聞くことができる場の提供などできるといいのではないかというご意見がございました。

それから、「議題(2) 新潟市中央区の市民アンケートの調査票」ですけれども、問11「あなたが中央区の魅力を発信するとしたら、どのようなテーマや内容で発信します

か。」というものと、問13「あなたは中央区がどのようなまちになるといいと思いますか。」の結果を確認しました。主な意見として、全体の調査票の半数近くが若い世代なので、若い世代に力点をおいて、今後まとめていったほうが提言としてつながるのではないかというような意見が多く出ました。

私は意外だったのですが、若者の中で、発信したいテーマは、歴史と文化にあふれるまちというものが一番多かったです。これからまとめになっていくのですが、提案があったのは、若い世代を集めての座談会など、魅力を発信できる場を提供するといったのではないかということでした。

それから、アンケート結果から行政の取組みを促すのであれば、ある程度絞りながら具体的な提言をまとめていく必要があるだろうというような意見が出ています。

様々な意見が出ましたけれども、次回の部会で絞って、今後ゴールに向かって進んでいきたいと思っています。

(議長)

ありがとうございます。今回は、第3部会の質疑応答だけを先にやります。皆さん、今の説明について質問や意見等はございますでしょうか。よろしいですか。それでは、川端部会長、どうもありがとうございました。

続きまして、第1部会は、中野部会長よろしく申し上げます。

## ②第1部会（資料報2-1）

(中野委員)

第1部会長、鳥屋野校区コミュニティ協議会の中野でございます。

私からは、部会の報告と、イベントの報告をさせていただきます。最初に部会報告です。10月3日火曜日、出席者の方々をご覧のとおりでございます。この日はイベント直前になりまして、「にいがた2kmガチャラリー」の確認をしたところでございます。次につなげることを考えてアンケートを取ることにになりました。

アンケートの内容ですが、年齢層や、このイベントをどうやって知りましたかということや、クイズの難易度、イベントは楽しかったでしょうかというようなことを盛り込みました。また、今後の「にいがた2km」で取り組んでほしいことなども書いていただくことにしました。

その後、クイズをガチャカプセルに詰め込む作業をして、その日は終わりました。当日までの細かい作業については、事務局にお願いすることにいたしました。

ガチャラリーは、10月15日の土曜日11時から16時まで行いました。この日は、古町どんどんの開催日でもございました。

参加者数を申し上げます。新潟駅前会場が258人ございました。日報のメディアシップの中の万代会場が264人、古町どんどんも開催されていた古町会場が一番多くて

508人でした。合わせて1,030人という大変多くの人から参加をいただいたわけでございます。

3か所とも回っていただいた方は、全部で220人おられました。大変大盛況で、大成功だったのではないかと考えております。

当日スタッフとして他の部会員の皆様から協力していただきました。本当にご苦労様でした。お礼を申し上げます。

皆さんのテーブルに上がっているクイズがイベントで使用した内容でございます。全部で136件寄せられたのですが、この中から絞り、修正を加えて、駅前が14問、万代と古町が15問ずつとしました。ご覧いただきたいと思います。皆さん、ご協力ありがとうございました。

(議長)

中野さん、どうもありがとうございました。

質疑応答につきましては、ここから先は最後にさせていただきます。

続きまして、第2部会は、高橋部会長がお休みですので、山田副部会長、よろしくお願います。

## ②第2部会（資料報2-2）

(山田委員)

栄地区コミュニティ協議会の山田です。第2部会の報告をいたします。資料報2-2をご覧ください。

日時は、令和4年10月21日午後3時30分から午後5時15分まで行いました。会場、出席委員、その他は記載のとおりです。

「議題（1）今年度及び次年度特色ある区づくり予算（区役所企画事業）」について、健康福祉課より説明があり、質疑応答を行いました。「赤ちゃん誕生お祝い会」について、申し込んだらすぐに開催できるのかという質問に対し、4月から5月に開催団体募集をし、それぞれの団体が開催時期を決めるとの回答でした。

「みんなでつながるにっこにこ子育て応援事業」について、初産の方やパートナーもより積極的に参加できるといいと思うという意見に対し、開催回数を増やし、参加しやすい環境をつくっていくとの回答でした。

「レッツトライ！糖尿病予防事業」について、事業効果の分析や今後の事業の進め方については、検討しているのか、若い世代へ糖尿病になったあとの大変さを積極的に周知すれば予防する人が増えるのではないかと意見が出ました。

「認知症地域支えあい事業」について、認知症が増える世代を親に持つ50歳代向けに学習会などを行うと良いのではないかと、様々な方法での啓発活動が重要ではないかと、認知症にならない対策を考えてほしいとの意見がありました。

「議事（２） 市民提案型事業募集について」です。９月２８日に実施された徘徊模擬訓練について、委員より当日の様子や参加した感想等を報告してもらいました。当日、私も参加いたしました。全員で７２名の参加でした。私は徘徊者を探す捜索隊で、徘徊の方の名前と住所を聞き出すという課題があったのですが、初めて会う方への声掛けのきっかけをつくるのがすごく難しく大変でした。終了後は反省会で、「様々な気づきがあった」、「単発では終わらず継続して行ってほしい」という意見が出ました。

（議長）

ありがとうございました。続きまして、第４部会です。ここも樋口副部長、よろしくお願いいたします。

#### ④第４部会（資料報２-４）

（樋口委員）

第４部会、関屋小学校区コミュニティ協議会の樋口です。今日は、高橋部会長が欠席のため、代わりにご報告させていただきます。

資料２-４をご覧ください。第６回第４部会です。まず、当部会は空き家対策の一環として、空き家活用事例を動画にして発信するという事業に取り組んでおります。今回の空き家活用事例は３軒です。西堀の蔵織・ゆきわ、古町通りのFKメゾン、附船町の地域の茶の間「笑顔の家」です。これは、８月に委員が３班に分かれまして現地を訪ねて、所有者のインタビューですとか動画の撮影などの取材を行いました。９月に動画が完成し、９月の部会で、全員で閲覧しましたが、その場で動画の意見、修正は難しかったので、高橋部会長がDVDを作成し、各担当委員にそれぞれのDVDを送り、意見集約を報告することといたしました。

今回の部会は、その意見集約の内容を協議したものです。その内容です。「（１）空き家活用事例取材動画に対する意見等について」です。空き家活用事例紹介動画に対する各委員からの意見、修正のものを確認し、対応方法について部会長から説明がありました。数多く出たのですが、主な意見といたしましては、字幕の文字間隔の調整や各シーンの順番を変更することは可能か。これは、編集で対応が可能ということでした。それから、動画の中に委員の映り込みはカットしたほうがよいのではないかという意見がありました。委員自ら現地ロケをした様子が映ることで、部会活動の紹介にもなるためカットしないということになりました。

次に、字幕部分を抜粋したものと書いてありますが、これは、高橋部会長が字幕の部分を文字起こしして作成したもので、各委員に配布し、意見や修正点についての期日までに事務局に提出するというにさせていただいておりました。今回作成した動画をいかに見ていただくかということも議論して、PRチラシを作成することになりました。

続いて、チラシの構成等について意見交換をしました。主な意見として、取材対象と

なった3つの物件の所在地や連絡先を記載したほうが良い、高齢者もスムーズに動画にアクセスできるよう閲覧方法について丁寧な説明書きを入れたほうが良い、チラシの裏面を活用し、今回の活動の経緯や取材に込めた思い等も掲載した方が良いでしょうがありました。裏面に掲載する委員コメント部分は、期限までに事務局へ提出することを宿題としました。

3番目に、「区ビジョンまちづくり計画について」ですが、これは10月部会での意見聴取後に提出された、各委員からの意見を踏まえた区ビジョンまちづくり計画案について、地域課より説明がありました。意見がある場合は、期限までに地域課へ提出するということになりました。

(議長)

樋口副部長、どうもありがとうございました。

それでは、第1部会、第2部会、第4部会と今報告をしていただいたのですけれども、今の報告につきまして、質問、ご意見等はございますでしょうか。よろしいですか。それでは、報告してくださった皆様、どうもありがとうございました。

――各所管課からの説明（報告）――

(1)「中央区区ビジョンまちづくり計画第4次実施計画」令和3年度の取組結果について（報告）（資料報3）

(議長)

次にいきます。また、次第をご覧ください。次は、各所管課からの説明になります。「報告（3）中央区区ビジョンまちづくり計画第4次実施計画について」です。こちらは、大倉地域課長から説明していただきます。よろしくお願いいたします。

(地域課長)

こんにちは。中央区地域課長の倉でございませう。

私から、中央区区ビジョンまちづくり計画第4次実施計画の令和3年度の取組結果について報告いたします。資料は、資料報3になります。1枚めくっていただきまして、最初にA4縦左上のホチキス止めの資料「中央区区ビジョンまちづくり計画の取組結果について」の1ページをご覧ください。

区ビジョンまちづくり計画の概要と第4次実施計画の1年目における取組状況について、ご説明をいたします。区ビジョンまちづくり計画は、中央区のまちづくりの方針を示した基本計画とその実現に向けて具体的な取組みを示しました実施計画とで構成されています。

中ほどの表をご覧ください。計画期間は、平成27年度から令和4年度までの8年間となっております。実施計画については、取組みの実施状況や社会経済情勢の変化など

に柔軟に対応するため、2年ごとに見直しをかけながら作成することとしております。本日は報告することは、この内、丸でお示ししている部分、第4次実施計画の内、令和3年度に実施した事業の取組結果となります。

一番下の表をご覧ください。こちらが、目指す区のすがたの項目ごとで、令和3年度に取り組んだ事業の目標達成値をまとめたものでございます。表の見方ですけれども、取組数の縦列があって、下の計の欄に109となっています。これが、令和3年度の実施計画で取り組んだ総事業数になります。これら109の事業にはそれぞれ行程、数値目標を掲げておりますけれども、その目標値をクリアできたものは目標達成、一部及ばなかったものは一部目標未達成、取り組めなかったものは未実施、令和3年度における数値目標がないなどの理由で評価できないものは評価困難といったような形で整理しております。その結果、全109事業の内、83事業で目標を達成しております、目標達成率は80.6パーセントという結果になりました。

事業ごとの取組状況を1冊にまとめたものが、その次のホチキス止めの少し厚い冊子、中央区区ビジョンまちづくり計画第4次実施計画令和3年度分取組状況というものになります。なお、この冊子ですけれども、再掲を含む全109事業について、区主体で実施した事業と本庁主体で実施した事業に分けて掲載しております、その一つ一つの事業について、取組結果が未達成の場合はその理由も詳細に記載しておりますので、のちほどご覧いただければと思います。

ここからは、全109事業のうち、自治協議会の委員の皆様からご意見をいただきながら実施しております特色ある区づくり予算の取組状況について、こちらの本冊から抜粋したものを説明させていただきます。

先ほどの資料の「中央区区ビジョンまちづくり計画の取組結果について」に戻っていただきまして、2ページの表をご覧ください。めくっていただきまして、2ページになります。2ページ以降ですけれども、特色ある区づくり予算の区役所企画事業全13事業が記載されております。この全事業が第4次実施計画事業に位置付けられております。事業名の前に記載の番号は、先ほどの厚い本冊に記載してあります事業ナンバーとなっております。なお、令和5年度も継続して実施する予定の事業については、先ほどの議事でありました令和5年度の特色ある区づくり予算の意見聴取の参考にしていただければと思います。

それでは、1つずつ取組結果についてご説明いたします。まず、2ページの事業No.1「まちなか発にぎわいプロジェクト」ですが、新型コロナウイルスの感染状況を見ながらイベントを開催したため、アトリウムでの開催がメインとなりまして、エリア拡大という目標達成はできませんでしたが、ほかのイベントと連携しながら、メッセージ性の高い情報発信ができました。

No.6「地域のお宝！再発見事業」のえんでこまち歩きでは、春と秋に全25コースを実施しまして、多くの方に中央区の魅力を実感していただける機会を提供することができました。

次にNo.7「地域のお宝！再発見事業」のフォトコンテストについてです。水辺のまち中央区をテーマに730件の応募がありまして、中央区の魅力を広く発信することができました。次に、3ページをご覧ください。再掲事業は割愛いたしまして、No.33「しもまち地域活性化事業」では、しもまち地域の活性化のため、人の交流、流入を促すとともに若い世代に興味を持ってもらうきっかけづくりを目的として、SNS等を活用した魅力の発信や現地を訪れ地域の魅力に触れるイベントを実施いたしました。

No.40「みんなでつながるにっこにこ子育て応援事業」では、妊カフェ、育カフェ、産科、医療機関との連携会議などの各事業を通じまして、安心して子育てができる体制と切れ目ない支援を行いました。

次に、3ページの下から4ページにかけてですけれども、No.41「赤ちゃん誕生お祝い会支援事業」では、5つの地域団体に対して開催支援を行い、子育てへの不安や地域からの孤立感の解消につなげることができました。

No.48「レッツトライ！糖尿病予防事業」では、地域へ専門職を派遣した健康講座の実施や、商店街従業員に向けた健診、受診勧奨チラシの配付、乳児を持つ保護者向けの離乳食講習会を活用した糖尿病予防の普及啓発などを行いました。

No.54「話そう・つなごう・あなたの想い 終活きっかけづくり事業」では、専門職を対象とした研修や地域別人選会議を実施し、もしものときに備え、周りの人と話し合い、意思表示をすることの大切さについて周知を図り、それを支援する仕組みづくりを行いました。

No.66「防災人材育成・地域づくり事業」では、ハイパージュニアレスキュー講演会の開催や防災資機材の助成を実施したほか、避難行動要支援との関係づくりを進めました。また、2つのコミュニティ協議会で地域版津波自主避難マップを作成、配付の支援を行いました。

次に5ページをご覧ください。No.72「犯罪のない地域づくり事業」では、特殊詐欺への注意喚起のチラシや啓発物を該当啓発活動や協力事業者による訪問で配付しまして、高齢者に直接届く働きかけを行いました。

No.77「鳥屋野潟環境啓発事業『とやの物語』」ですが、鳥屋野潟の周辺校だけでなく中央区内の全小中学校へ参加を呼びかけ、出前講座、パネル展等の環境啓発事業を実施いたしました。

No.81「区民協働森づくり事業」では、浜浦小学校区コミュニティ協議会や小中学校などの関係団体、区民との協働で、海浜植物園周辺に500本のクロマツの植樹を行い、本事業の計画エリアすべての植樹を完了することができました。

最後に、6ページをご覧ください。No.83「みなとまち新潟伝統的産業のPR事業」です。新潟漆器については、市内の飲食店等10店舗に新潟漆器の貸し出しを行い、発酵食PR事業では、中央区内の二つの小学校で、区内製造発酵食を使用した給食の提供や発酵食産業PRの冊子を配付すると、区の伝統的産品である新潟漆器、発酵食の認知度向上を図りました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、料亭の味と芸妓の舞については実施することができず目標達成に至りませんでした。古町芸妓によるPR事業では、古町芸妓お昼の舞を定期的に開催しまして、古町芸妓による踊りの披露や記念撮影など、気軽に古町芸妓に触れていただくことができ、みなとまち文化や古町芸妓の魅力を伝えることができました。

以上、令和3年度の実施事業の取組結果のうち、特色ある区づくり予算の区役所企画事業についてご説明いたしました。新型コロナウイルス感染症などの影響により、一部目標未達成がありましたが、コロナ禍に対応した事業に変更するなどの対応を柔軟に取りながら、区ビジョンの目標に掲げた取組みを進めることができました。

(議 長)

ありがとうございました。ただいまの報告に対して、質問や意見等はございますでしょうか。

(松川委員)

鉄道・公共交通研究家の松川です。よろしくお願いします。

6ページの、No.83「みなとまち新潟伝統的産業PR事業」ですが、新潟には漆器や発酵食などいろいろないいものがあるのですけれども、これは県外の方から見ると、どこにいったら出会えるのかということがよく分からないと思います。ここに行けば出会える、ここに行けば知識が得られるという核が一つ必要ではないかと思います。

例えば、古町のアーケードの中にある、まちみなと情報館に行けば新潟漆器がこういうものだ、どこに行けばそういったお店がある、発酵食だったら新潟はこういう伝統がある、どこにいけば、それを研究している、販売しているといった情報が得られと良いと思います。

この前、三条に行ったのですけれども、三条駅の中に展示があります。そこに行けば情報を得られて、では行ってみようかというふうに広がりができるのですけれども、このままでいくと新潟漆器をお店で使ってもらっても、どこのお店で使ってもらっているのか分からないのです。

新しく箱物を作れとは言いません。まちみなと情報館の2階を使うとか、あるいはどこかの空いているところを使うとか、情報提供の核の一つ作ってもらいたい。それを観光情報ガイドに載せる。SNSでも発信する。そういったことで発信源を強化して、今あるものをもっと広めていっていただきたいというのが私の願いです。

(議 長)

ありがとうございました。よろしいでしょうか。

(地域課長)

ありがとうございます。今やっているPRは少し足りない部分もあるかと思います。工夫をしながら、より広めていけるようにしていきたいと思います。ご意見ありがとうございます。

(議 長)

松川さん、よろしいでしょうか。

ほかに質問、意見等はございますでしょうか。

大倉地域課長、どうもありがとうございました。ここで、報告事項は終わります。

#### 4 その他

(議 長)

続きまして、その他です。区役所からのお知らせを大倉地域課長からよろしくお願ひします。

(地域課長)

私から、区役所のお知らせについて、2点ご案内したいと思います。

まず、「地域の祭り・イベント等の用具整備を応援します！！」と書かれたチラシをご覧ください。

この事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や縮小を余儀なくされている地域の祭りやイベントの開催を支援するために、用具の購入や修繕費用等の一部を補助するものです。申請できる団体は地域コミュニティ協議会、自治会、町内会などの地縁団体のほか、実行委員会組織やNPOなどの非営利団体となります。令和4年4月1日から令和6年3月31日までの間に整備するものを対象としまして、補助対象経費の補助率が5分の4でかつ100万円を上限に補助いたします。詳しくは、チラシの裏面に記載しておりますところをご覧ください。また、補助事業の手引きにつきましては、すべての自治会、町内会及びコミュニティ協議会宛てに後日お送りいたしますのでご覧ください。また、申請書類は、窓口を設置されているほかにホームページにも掲載いたしますので、そちらも併せてご覧いただければと思います。

続きまして、カラーの「PLAY! PLAY! PLAY!」というチラシをご覧ください。これは、特色ある区づくり事業の一つ「しもまち地域活性化事業」として、しもまちの魅力を発信する「はじめて、しもまち。プロジェクト」の一環として、11月5日土曜日11時からゆいぽーとにおいて、現地イベント「PLAY! PLAY! PLAY!」を開催いたします。

めくって見開きをご覧ください。当日は、ワークショップ、地域の人々を交えたトークライブなどのほか、音楽ステージイベントやDJ体験、屋外ではしもまちの人気パン

屋さんのみなど街ベーカリーのイベント限定ラスクの販売をはじめ、各種飲食ブース、グラウンドでは遊びを通じて防災を学べるコーナー、日没後は、たき火を囲んで音楽ライブなど、1日を通して、ご家族の皆さんで楽しんでいただける盛りだくさんの魅力的なメニューをご用意しております。

裏面をご覧ください。イベントに先駆けまして、10月21日から11月5日までおさんぽスタンプラリーが開催されています。しもまちの各店舗を回ってスタンプを集めて、11月5日の当日のイベント会場にスタンプカードを持っていくと、旧齋藤家別邸の入館チケットなどが当たるガラポン抽選会にご参加いただけます。当日、会場には臨時駐車場をご用意しておりますけれども、台数に限りがございます。可能な限り公共交通機関をご利用いただければと思います。また、古町からは、しもまち循環バスにここ号が大変便利です。はんこの大谷前にあります、にここ号の寄居町十字路前のバス停からご乗車いただきまして、二葉町1丁目まで下車していただければ徒歩1分となりますので、ご利用ください。そろそろ紅葉ですけれども、色づく秋の下町にぜひ、皆様お越しください。

このほか、11月3日にはしもまち早川堀通りキャンドルナイトが開催されます。これは、私どもの主催ではないのですが、みなとびあや早川堀通り周辺エリアにおいてフォークソングステージの開催や、飲食ブースの出店のほか、たくさんのキャンドルが灯されて、やさしいときが流れます。また、当日は延期しておりました新潟まつりの花火ショーも開催予定となっておりますので、秋の夜長にみなとまちの歴史を感じながら、花火とキャンドルの明かりに包まれたしもまちをゆっくり散策されてみてはいかがでしょうか。

なお、新潟まつり花火ショーの打ち上げエリア周辺道路では、当日午後5時30分から午後8時の間は交通規制が行われる予定となっております。お出かけを予定されている方はご注意くださいと思います。

(議長)

ありがとうございました。ただいまのお知らせについて、皆さん質問や意見等がありますか。よろしいですか。ありがとうございました。

続きまして、各委員からお知らせがあれば発表をお願いします。知野さん、お願いします。

(知野委員)

NPO法人まちづくり学校の知野です。水辺の活用の一つということで、ミズベリングと反対になる柳都大橋側でハジマリヒロバという活動を行っております。新米フェスということで、出口付近にチラシを置いてありますので、帰りの際にご興味のある方は取っていただければと思います。農家の方々と学生、家族連れの子どもに対して、29日、30日の11時から17時に最高のご飯のお供はどれだということで、ご飯をどんぶりに

盛りながらおかずをのせていくというようなイベントが開催されます。水辺の活用の一つとしてご報告をさせていただきます。

あと、もう一つですが、今お話のあったしもまちに関してですけれども、こちらはNPO法人まちづくり学校として、「いにしへの北前船 その名残を探る」ということで、しもまちエリアをまち歩きをします。こちらは、11月5日土曜日13時から16時を予定しております。こちらもちラシが出口に置いてありますので、ご興味のある方はお持ちいただいて、ご参加いただければと思います。特色ある区づくりにもありますように、歴史と文化を受け継ぎ発展するまちとありますので、しもまちのいろいろな面白さを再発見していただけるのではないかと考えております。

内容といたしましては、みなとぴあに行ったり、スイーツを食べたり、日和山に行ったり、14番町の遊郭跡の活動をされている和田さんのお話を聴いたりします。新潟シティガイドが付いて周りますので、ぜひご検討をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

(議長)

ありがとうございました。イベントが目白押しですので、皆さん、なるべく時間をつくって参加してください。

私からも一つあります。11月5日に自然科学館で生き物発表会をします。10時から16時まで。水族館や植物園の専門家が小学生でも分かるように生物の発表を発表します。ちなみに、その発表会は、私が会長で、朝から晩まで司会をやっておりますので、私の声が聞きたい方はぜひとも来てください。よろしくお願い致します。ありがとうございました。

## 5 委員提案に基づく討議

(議長)

続いて、委員からの議事提案に基づく討議です。知野さんよろしくお願い致します。

(知野委員)

NPO法人まちづくり学校の知野です。よろしくお願い致します。

私が、協議事項としてあげさせていただいたものは、「会議のハイブリット対応導入について」です。昨今、オンライン会議は当たり前に行われておりますが、会議開催にあたりウィズコロナ時代に合わせたハイブリット対応を導入することで、出席者の感染防止や移動にかかる負担軽減につながるとともに、コロナ禍で会議が中止となり部会活動に遅れが生じるなどの問題も軽減されます。

また、自治協議会委員の高齢化が課題とされている中で、40代、50代、60代の方たちも関われる仕組みをつくることで、仕事の合間をぬって会議に参加できる体制は、自治に対して入口を広げられると思っております。今の時代に合わせた会議のあり方、進め方について、皆様のご意見をお聞かせいただければと思います。また、コミュニティ協議会など会議開催にあたり、工夫されていることや取組みなどがありましたら併せてお聞かせください。

オンライン会議をすでに導入している秋葉区の事例を少しお話させていただきます。秋葉区自治協議会長の金子さんに、どのように行われているのかを確認いたしました。こちらの金子洋二さんですが、やはり同じNPO法人まちづくり学校で活動をしております。

導入のきっかけですけれども、コロナ禍に突入する直後より、オンライン会議の導入の方針を立てたそうです。まず、自治協議会委員を対象としたアンケートで希望を確認しました。どんな内容だったのかと申しますと、メールアドレスの有無、パソコン操作の可否、これは代理でパソコン操作ができるかも含めてのアンケートです。3つ目に通信環境の有無。それから、4つ目に資料配付について、紙がいいのか、それともデータがよいのかという4つのアンケートを取られたそうです。秋葉区の場合は、ほぼすべての委員がオンラインでの対応が可能だと判明し、その後、区役所の自治協議会担当職員が奮闘し、オンライン会議が可能な環境を整えていただいたということです。

最初は、念入りにリハーサルをし、会議の会場が変わった際の調整などいろいろ苦労をされたそうですが、今では希望すればいつでもオンライン会議で参加でき、委員だけではなく、区役所職員や課長たちもオンラインで参加するなど、より自由度の高い会議が安定してできているそうです。

こうした動きと並行して、もちろん部外秘ではございますが、メールアドレスや連絡先の住所、電話番号などを委員の間で共有することを決め、年度の初めに一覧を配付しているそうです。これによりどんな変化があったかということ、委員同士の連携が図りやすくなり、よりチームワークが高まったと感じているというようなお話をいただきました。参考になればと思います。

(議 長)

ありがとうございます。今の説明は、秋葉区ではオンライン会議がすでに始まっているということで、コロナ禍で中央区もできるのではないかと提案です。皆さん、今の知野さんの説明に対して、意見や質問等はございますでしょうか。

(大竹委員)

長嶺コミュニティ協議会の大竹順一と申します。ハイブリット対応と言えるか分からないのですが、当コミュニティ協議会の取組みについてお話をさせていただきます。

会議の場での配付文書の軽減のためにパワーポイントを使って、配られる資料を投影して説明を行うという会議をやっています。

オンライン会議については、理想ではありますけれども、全員がパソコンを使った会議をできる環境であるとは考えられないので、現状ではオンライン会議は不可能ではないかと思います。会議に出席できない人は自分の意見を書面なりで事務局に送付していただいて、会議の席で発表してもらおうほうがいいのではないかと考えています。

(議 長)

ありがとうございます。ほかに意見等はございますか。

(西潟委員)

第3部会の防災士会の西潟と申します。

第3部会のメンバーの中に1人、大学生の方がいらっしゃいまして、なかなか部会に出られないときがあるということで、私どもと地域課の方で相談して、zoomを使って会議に参加してもらったのです。zoomでやる会議もいいです。対面でやることもまたメリットがあります。対面がいいのか、zoomでやる方がいいのか、それは十分な検討が必要かと思っています。

(議 長)

今、お二方から意見等が出たのですけれども、ご回答をよろしく願います。

(知野委員)

ご意見ありがとうございます。全体がオンラインではなくて、ハイブリットなので、オンラインでやる人がいつつ、ほかは会議に出席しているというようなやり方でもいいのかと思います。まず、最初のきっかけとして、いいと思っています。

(議 長)

できる方からオンラインで参加もありではないかというお話です。

ほかにありますでしょうか。

(田中(雅)委員)

湊地区コミュニティ協議会の田中です。今のお話の中で、資料のデジタル化。これは、当自治協議会として、次年度に向けて取り組んでもらいたいと思うのです。毎回大量の資料をいただいておりますが、それも全部費用です。費用のかかることですから、すぐできないとは思いますが、ぜひ資料をデジタル化して、会議等でパソコン環境のない方については貸し出す等ぜひお願いしたいです。

そして、デジタル化されていれば、あとから見直すということが比較的簡単にできる

のです。ぜひ、ご一考お願いしたいと思います。

(議 長)

ありがとうございます。オンライン会議に、さらに資料をデジタル化してやったらどうかという意見が出ました。そんな形で、われわれ自治協議会も、できる範囲でよいので進めていってもよろしいのではないのでしょうか。どうもありがとうございました。

閉会の前に1つだけ私から提案があります。資料はないです。

実は、来年の5月11日から13日にかけて、G7財務大臣中央銀行総裁会議というものが行われます。それに向け、総裁会議開催推進協議会というものができあがり、会議が始まりました。どんな団体が入っていますかという、例えば経済金融では商工会議所とか銀行協会。さらに食では農協や食の新潟国際賞財団とか、医療では新潟市医師会、教育では大学連携新潟協議会。そのほか、行政関係では新潟県新潟市、日銀とか、県警とさまざまな団体が入っています。その中に、地元として新潟市中央区自治協議会が入っております。

そこで何かしなくてはいけないと私は思いました。われわれにできることは環境整備だと思います。

私は、前に委員提案をしたことがあるのですが、皆さんのご自宅の間口の草取り、除草やごみ拾いを毎日のようにしましょう。それとともに、スーパーや事業所の皆さんにも協力をしていただいて、美化しよう。今からやれば、ぴかぴかになると思うのです。草もなければ、ごみもない。いつ来ていただいても、新潟市はぴかぴかだということアピールできると思います。

そんなことで、実施したいと思います。さらに、ちょうど5月10日頃はチューリップがまだ咲いていると思うのです。チューリップは新潟市の花ですから、皆さんにお願いをして、空いたところにチューリップの球根を植えていただいたらどうかということも思っております。

これを我々自治協議会で進めていきたいのですけれども、自治協議会として使える区の予算を活用してやっていこうかと思います。私が属している第2部会で、協働ということをやっておりますので、進めさせていただきたいと思います。皆さんよろしいでしょうか。ありがとうございます。そんな形でサミットに向けて進めていこうと思います。

## 6 閉会

(議 長)

全体を通して何か意見や質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは閉会とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

県議・市議	2名
傍聴者	0名
報道機関	1社